

## 医療資源へのアクセシビリティと健康

看護学部（専門基礎領域） 堀 芽久美

●連絡先 E-Mail : mhori@u-shizuoka-ken.ac.jp

## キーワード

医療資源へのアクセス, がん, 地域格差



がんの死亡率には地域差がありあます（図1）。この地域差の原因はさまざま指摘されていますが、医療施設へのアクセスのしやすさ（アクセシビリティ）も、がん死亡率の地域差に影響を与える要因として考えられます。住んでいる都道府県・市区町村や、さらに細かい住所の違いによって、自宅からもっとも近い医療施設までの距離、移動時間、移動費用は大きく異なることが想像できます。このような医療施設へのアクセスのしやすさの違いが、疾患の早期発見やその後の生存率・死亡率に影響していないでしょうか。私たちは、Geographic Information System: GIS という地理的な把握・分析を行うシステムを活用し、医療施設へのアクセスのしやすさと地域の死亡率や生存率、早期発見割合、医療費との関連を明らかにしていきます（図2）。

図1：がん死亡の地域差

\*全国を100とした場合の標準化死亡比、100より大きいと全国より高い

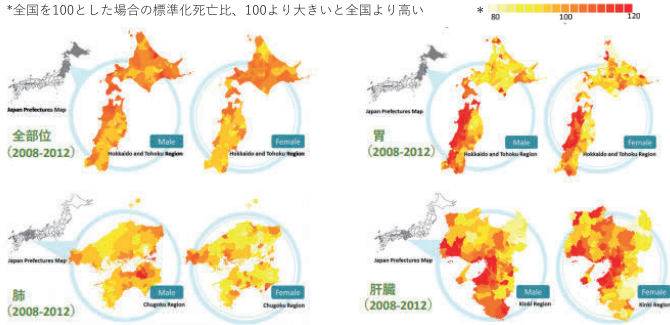
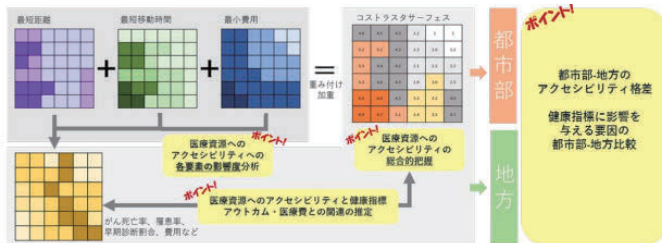


図2：アクセシビリティ



## アピールポイント

自治体や医療施設が持つ保健・医療情報や公的統計から、住民、患者などの特性、疾患との関連について解析を行うことができます。協力自治体や医療機関を募集しています。